AXIS Q6300-E Panoramic Camera

AI搭載 / 360°のオーバービュー / 容易な設置

この全指向性カメラは、4つの1/2インチセンサーを搭載し、合計4x5メガピクセルの解像度を提供します。AXIS Q61/Q63/P56 PTZシリーズとの動作用に設計されており、ワンクリックでオーバービューから詳細なズームインビューに切り替えることができます。指向性音声検知機能を備えており、音声インシデントが検知されるたびにPTZカメラの向きを音声ソースの方に変えます。深層学習処理ユニット (DLPU) により、高度な機能とパワフルな分析機能をエッジで実行することができます。ハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォーム「Axis Edge Vault」により、デバイスを保護して、機密情報への不正アクセスを防止することができます。さらに、USBポートを備えているため、設置担当者はWi-Fiドングルを挿入し、カメラの映像を確認しながら素早く調整することができます。

- 4つの5メガピクセルセンサーを搭載した360° カメラ
- 現行のAXIS Q61/Q63/P56-E PTZ Camera推奨
- Wi-Fiドングル対応により容易な設置を実現
- 指向性音声検知
- 内蔵サイバーセキュリティ「Axis Edge Vault」

JAPAN CYBERSECURITY LABEL
ジャパン・サイバーセキュリティ・ラベル
JC-STAR
Registered ID: 2025050200000244
Information-technology Promotion Agency, Japan (IPA)

AXIS Q6300-E Panoramic Camera

カメラ

イメージセンサー
4個の1/2"プログレッシブスキャンRGB CMOS
ピクセルサイズ2.9 μm

レンズ
3.7 mm、F2.0
水平画角: 360°、各センサー108.4°
垂直画角: 84°
最短焦点距離: 1.0 m (3.3 ft)
オートフォーカス、M14マウント、固定アイリス

デイナイト
自動IRカットフィルター

最低照度
カラー: 0.06ルクス (50 IRE、F2.0)
白黒: 0.03ルクス (50 IRE、F2.0)

シャッター速度
1/66500秒〜2秒

カメラ調整
パン±180°、チルト-40〜+75°、回転±95°

システムオンチップ (SoC)

モデル
ARTPEC-8 (x2)

メモリー
RAM 8 GB、フラッシュ8 GB

コンピューティング機能
深層学習処理ユニット (DLPU)

ビデオ

ビデオ圧縮
H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC) Baseline、Main、High Profile
H.265 (MPEG-H Part 2/HEVC) メインプロファイル
Motion JPEG

解像度
2592x1944〜320x240 x 4
デフォルト:2592x1944

フレームレート
すべての解像度で最大30フレーム/秒 (50/60 Hz)

ビデオストリーミング
最大20の設定可能でユニークなビデオストリーム[1]
Axis Zipstream technology (H.264/H.265)
フレームレートおよび帯域幅の制御
VBR/ABR/MBR H.264/H.265
低遅延モード
ビデオストリーミングインジケーター、

S/N比
55 dB超

WDR
Forensic WDR:最大120 dB (撮影シーンによる)

ノイズリダクション
空間的フィルター (2Dノイズリダクション)
時間的フィルター (3Dノイズリダクション)

画像設定
彩度、コントラスト、輝度、シャープネス、ホワイトバランス、デイナイトモード閾値、ローカルコントラスト、トーンマッピング、露出モード、露出エリア、曇り除去、補正、圧縮、回転:0°、90°、180°、270°（コリドールフォーマット、テキストおよび画像のオーバーレイ、動的なテキストおよび画像のオーバーレイ、オーバーレイウィジェット、モザイクプライバシーマスクを含む32種類の個別ポリゴンプライバシーマスクを含む）
シーンプロファイル:屋外対応、屋内、フォレンジック

画像処理
Axis Zipstream、Forensic WDR、Lightfinder 2.0

音声

機能
スピーカーのペアリング

出力
スピーカーペアリングまたはポートキャスト技術による出力

1. ユーザーエクスペリエンス、ネットワーク帯域幅、ストレージ使用率を最適化するために、カメラまたはチャンネルごとに固有のビデオストリームは最大3つまでをお勧めします。内蔵のストリーム再利用機能により、マルチキャストまたはユニキャスト転送方式を使用して、ネットワーク内の多くのビデオクライアントに固有のビデオストリームを提供できます。

ネットワーク

ネットワークプロトコル
IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS[2]、HTTP/2、TLS[2]、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP®、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、NTP、PTP、NTS、RTSP、RTP、SRTP/RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、ICMP、DHCPv4/v6、ARP、SSH、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、Secure syslog (RFC 3164/5424、UDP/TCP/TLS)、Link-Local address (ZeroConf)

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース
VAPIX®、メタデータ、AXIS Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様については*axis.com/developer-community*を参照)
One-Click Cloud Connection (ワンクリッククラウド接続)。
ONVIF® Profile G、ONVIF® Profile M、ONVIF® Profile S、ONVIF® Profile T（仕様については*onvif.org*を参照）

ビデオ管理システム
AXIS Camera Station Edge、AXIS Camera Station Pro、および*axis.com/vms*で入手可能なAxisパートナー製ビデオ管理ソフトウェアに対応。

画面上コントロール
プライバシーマスク
オートパイロット
指向性音声検知
メディアクリップ
ヒーター

エッジツーエッジ
スピーカーのペアリング

イベント条件
アプリケーション:オートパイロットトラッキング
装置ステータス:動作温度範囲外、ファンの故障、IPアドレスのブロック、IPアドレス削除、ライブストリーム有効、ネットワーク接続断絶、新規IPアドレス、PTZ電源障害、システムの準備完了、動作温度範囲内
指向性音声検知:音声の検知
エッジストレージ:録画中、ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検知
I/O:手動トリガー、仮想入力
MQTT:MQTTクライアント接続、ステートレス
PTZ:PTZ動作不良、カメラでのPTZの動き、PTZ準備完了
スケジュール、繰り返し:スケジュール
ビデオ:平均ビットレート低下、デイナイトモード、いたずら

イベントアクション
オートパイロット:オートパイロットをオンに切り替える
デイナイトモード:使用モード
曇り除去:モードの設定
指向性音声検知:DADをオンにする、PTZ (パン/チルト/ズーム) の移動をオンにする
画像:FTP、SFTP、HTTP、HTTPS、ネットワーク共有、電子メールを介して送信
LED:ステータスLEDの点滅
MQTT:公開メッセージを送信
通知:HTTP、HTTPS、TCP、電子メールを介して送信
オーバーレイテキスト: :オーバーレイテキストを使用
録画:ビデオ録画
セキュリティ:設定の消去
SNMPトラップメッセージ:メッセージの送信
ビデオクリップ:FTP/SFTP/HTTP/HTTPS/ネットワーク共有/電子メール

設置支援機能内蔵
ピクセルカウンター、リモートフォーカス、レベルグリッド

分析機能

アプリケーション
含まれるもの
AXIS Object Analytics、AXIS Image Health Analytics、AXIS Scene Metadata、AXIS Video Motion Detection、いたずら警告
サポート
AXIS Camera Application Platformに対応し、サードパーティ製アプリケーションをインストール可能 (*axis.com/acap*を参照)

マルチセンサー分析機能
4チャンネルの分析サポート

AXIS Object Analytics
物体クラス: 人、車両 (タイプ:車、バス、トラック、バイク、その他)
シナリオ: ライン横断、物体の対象範囲への侵入、物体の対象範囲への侵入- オートパイロット、領域内の滞留時間による検知、クロスラインカウント、エリア内の混雑状況、共連れ検知、PPE監視、BETA、エリア内の動き、エリア内の動き - オートパイロット、ライン横断の動き
最大シナリオ数は10本まで
その他の機能:軌跡、色分けされた境界ボックスおよびテーブルで視覚化されたトリガー物体
対象範囲と除外範囲
奥行きの設定
ONVIF動体アラームイベント

AXIS Image Health Analytics
Detection settings (検知設定):
いたずら検出:ブロックされた画像、リダイレクトされた画像
画像の劣化: ぼやけた画像、露出不足の画像
その他の特徴： 感度、検証期間

2. この製品には、*OpenSSL Toolkit*で使用するために*OpenSSL Project (openssl.org)* によって開発されたソフトウェアと*Eric Young (eay@cryptsoft.com)* によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

Audio Analytics
音圧レベル（SPL）、適応音声検知、指向性音声検知

AXIS Scene Metadata
物体クラス: 人、顔、車両 (タイプ:車、バス、トラック、自転車)、ナンバープレート
物体属性:車両の色、上/下の服の色、信頼度、ポジション
音声データ： 音声レベル

認証

製品のマーキング
UL/cUL、CE、KC、EAC、VCCI、RCM

サプライチェーン
TAA準拠

EMC
CISPR 35、CISPR 32 Class A、EN 55035、
EN 55032 Class A、EN 50121-4、EN 61000-6-1、
EN 61000-6-2
オーストラリア/ニュージーランド:
RCM AS/NZS CISPR 32 Class A
カナダ : ICES(A)/NMB(A)
日本: VCCI Class A
韓国: KS C 9835、KS C 9832 Class A
米国 : FCC Part 15 Subpart B Class A
鉄道: IEC 62236-4

安全性
CAN/CSA-C22.2 No62368-1 ed. 3、
IEC/EN/UL 62368-1 ed.3

環境
IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、
IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、
IEC/EN 60529 IP66、IEC/EN 62262 IK10、NEMA 250 Type 4X、NEMA TS 2 (2.2.7-2.2.9)、ISO 12944-6 C5、
ISO 21207 (Method B)

ネットワーク
NIST SP500-267

サイバーセキュリティ
ETSI EN 303 645、BSI IT Security Label、FIPS 140

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ
ソフトウェア: 署名付きOS、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC 6749 クライアントクレデンシャルフロー/OpenID認証コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護、Axis暗号モジュール (FIPS 140-2レベル1)
ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム
セキュアキーストア:セキュアエレメント (CC EAL 6+、FIPS 140-3 Level 3)
AxisデバイスID、署名付きビデオ、セキュアブート、暗号化ファイルシステム(AES-XTS-Plain64 256bit)

ネットワークセキュリティ
IEEE 802.1X (EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2)[3]、
IEEE 802.1AE (MACsec PSK/EAP-TLS)、IEEE 802.1AR、
HTTPS/HSTS[3]、TLS v1.2/v1.3[3]、Network Time Security (NTS)、X.509証明書 PKI、ホストベースのファイアウォール

文書化
AXIS OSハードニングガイド
Axis脆弱性管理ポリシー
Axis Security Development Model
AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)
ドキュメントをダウンロードするには、*axis.com/support/cybersecurity/resources*にアクセスしてください。
Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、*axis.com/cybersecurity*にアクセスしてください。

概要

ケーシング
IP66、NEMA 4X、およびIK10の各規格に準拠
ハードコーティングされたポリカーボネートドーム
アルミニウム/ポリマー製ケース
カラー:白NCS S 1002-B
再塗装の手順については、製品のサポートページを参照してください。保証への影響については、*axis.com/warranty-implication-when-repainting*にアクセスしてください。

電源
AXIS Q6300–E、Solo Kit 付属 (PTZなし):
PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 4 (60 W)
電力消費量:通常 (ヒーターオフ) 14.3 W、最大 47.3 W
機能:電源プロファイル、電源メーター

コネクター
ネットワーク:シールド付きRJ45 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T PoE、
USB:AXIS TU9005 Wireless Dongleに対応

3. この製品には、*OpenSSL Toolkit*で使用するために*OpenSSL Project (openssl.org)* によって開発されたソフトウェアと*Eric Young (eay@cryptsoft.com)* によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

ストレージ
microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応
SDカード暗号化に対応 (AES-XTS-Plain64 256bit)
NAS (Network Attached Storage) への録画
推奨されるSDカードとNASについては、*axis.com*を参照

動作温度
AXIS Q6300–E、Solo Kit 付属 (PTZなし):
PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 4 (60 W)
-50 ° C～55 ° C (-58 ° F～131 ° F)
NEMA TS 2 (2.2.7) に基づく最高温度: 74℃ (165 ° F)
湿度: 10～100% RH (結露可)
起動温度: -40 ° C (-40 ° F)

保管条件
温度：-40 ° C～65 ° C (-40 ° F～149 ° F)
湿度: 5～95% RH (結露不可)

寸法
製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。
有効投影面積 (EPA):0.047 m^2 (0.5 ft^2)

重量
4.0 kg (8.8 lb))

パッケージ内容
カメラ、アダプターブラケット、インストールガイド、所有者認証キー

オプションアクセサリー
レンズM14 7.6 mm F2.0 IR、水平視野角:58.5°
レンズM14 14.1 mm F2.0 IR、水平視野角:31°
レンズ M14 21.4 mm F2.0 IR、水平視野角:19.9°
レンズM14 30.8 mm F2.4 IR、水平視野角:13.8°
AXIS T8415 Wireless Installation Tool
AXIS Surveillance Card
その他のアクセサリーについては、*axis.com/products/axis-q6300-e#accessories*にアクセスしてください。

システムツール
AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、プロダクトセレクター、アクセサリーセレクター、レンズカリキュレーター
*axis.com*で入手可能

言語
英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証
5年保証、*axis.com/warranty*を参照

製品番号
*axis.com/products/axis-q6300-e#part-numbers*で入手可能

サステナビリティ

物質管理
PVC不使用、EDEC/ECA標準JS709に準拠
RoHS、EU RoHS指令2011/65/EUおよび2015/863、規格EN IEC 63000:2018に準拠
REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、*echa.europa.eu*を参照

材料
再生可能な炭素系プラスチックの含有率:42.3% (再生プラスチック:12.8%、バイオ系:29.5%)
OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み
Axisの持続可能性の詳細については、*axis.com/about-axis/sustainability*にアクセスしてください。

環境責任
axis.com/environmental-responsibility
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細については*unglobalcompact.org*を参照)

電力最適化パフォーマンス

電源
AXIS Q6300–E、Solo Kit 付属 (PTZなし):
PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 4 (60 W)、低電力プロファイル
PoE、IEEE 802.3bt Single Signature Class 4 (30 W)、最大/低電力プロファイル
電力消費量:通常 (ヒーターオフ) 14.3 W、最大 25.5 W

動作温度
AXIS Q6300–E、Solo Kit 付属 (PTZなし):
PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 4 (60 W)、低電力プロファイル
PoE、IEEE 802.3bt Single Signature Class 4 (30 W)、最大/低電力プロファイル
-40 ° C～55 ° C (-40 ° F～131 ° F)
起動温度: -30 ° C (-22 ° F)

他の製品と組み合わせた場合の電力

AXIS Q6355/58-LE との組み合わせ

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 5 (90 W)
電力消費量	通常 (ヒーターオフ、IRオフ) 28.0 W、最大80 W
動作温度	-45 ℃～55 ℃ (-49 ° F～131 ° F)
起動温度: (極寒温度管理機能 (Arctic Temperature Control) 搭載)	-40℃

電力最適化パフォーマンス

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 5 (90 W)、PTZカメラの低電力プロファイル
電力消費量	通常 (ヒーターオフ、IRオフ) 28.0 W、最大80 W
動作温度	-15 ℃～55 ℃ (5 ° F～131 ° F)

AXIS Q6325/LE との組み合わせ

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 5 (90 W)
電力消費量	通常 (ヒーターオフ、IRオフ) 27.3 W、最大80 W
動作温度	-45 ℃～55 ℃ (-49 ° F～131 ° F)
起動温度: (極寒温度管理機能 (Arctic Temperature Control) 搭載)	-40℃

電力最適化パフォーマンス (90W、低電力)

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 5 (90 W)、PTZカメラの低電力プロファイル
電力消費量	通常 (ヒーターオフ) 27.3 W、最大80 W
動作温度	-15 ℃～55 ℃ (5 ° F～131 ° F)

電力最適化パフォーマンス (60 W、最大電力)

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 4 (60 W)、PTZカメラの最大電力プロファイル
電力消費量	通常 (ヒーターオフ) 27.3 W、最大51 W
動作温度	-35 ℃～55 ℃ (-31 ° F～131 ° F)
起動温度: (極寒温度管理機能 (Arctic Temperature Control) 搭載)	-40℃

電力最適化パフォーマンス (60W、低電力)

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 4 (60 W)、PTZカメラの低電力プロファイル

電力消費量	通常 (ヒーターオフ) 27.3 W、最大48.5 W
動作温度	-15 ℃～55 ℃ (5 ° F～131 ° F)

AXIS Q6135/LE との組み合わせ

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 5 (90 W)
電力消費量	通常 (ヒーターオフ、IRオフ) 24.6 W、最大80 W
動作温度	-45 ℃～50 ℃ (-49 ° F～122 ° F)
起動温度: (極寒温度管理機能 (Arctic Temperature Control) 搭載)	-40℃

電力最適化パフォーマンス (90W、低電力)

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 5 (90 W)、PTZカメラの低電力プロファイル
電力消費量	通常 (ヒーターオフ、IRオフ) 24.6 W、最大80 W
動作温度	-10 ℃～50 ℃ (23 ° F～122 ° F)

電力最適化パフォーマンス (60 W、最大電力)

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 4 (60 W)、PTZカメラの最大電力プロファイル
電力消費量	通常 (ヒーターオフ、IRオフ) 24.6 W、最大51 W
動作温度	-35 ℃～50 ℃ (-31 ° F～122 ° F)
起動温度: (極寒温度管理機能 (Arctic Temperature Control) 搭載)	-30℃

電力最適化パフォーマンス (60W、低電力)

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 4 (60 W)、PTZカメラの低電力プロファイル
電力消費量	通常 (ヒーターオフ、IRオフ) 24.6 W、最大51 W
動作温度	-10 ℃～50 ℃ (23 ° F～122 ° F)

AXIS P5676-LE との組み合わせ

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 5 (90 W)
電力消費量	通常 (ヒーターオフ、IRオフ) 27.3 W、最大58 W
動作温度	-35 ℃～50 ℃ (-31 ° F～122 ° F)
起動温度: (極寒温度管理機能 (Arctic Temperature Control) 搭載)	-30℃

電力最適化パフォーマンス

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 4 (60 W)

電力消費量	通常 (ヒーターオフ、IRオフ) 27.3 W、最大51 W
赤外線照明	照射距離200 m以上 (撮影シーンによる)。PTZ動作中は一時的に照射距離が短くなります。
起動温度: (極寒温度管理機能 (Arctic Temperature Control) 搭載)	-30℃

AXIS P5655-Eとの組み合わせ

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 5 (90 W)
電力消費量	通常 (ヒーターオフ) 24.8 W、最大80 W
動作温度	-35 ℃～50 ℃ (-31 °F～122 °F)
起動温度: (極寒温度管理機能 (Arctic Temperature Control) 搭載)	-30℃

電力最適化パフォーマンス

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 4 (60 W)
電力消費量	通常 (ヒーターオフ) 24.8 W、最大44.5 W
動作温度	-35 ℃～50 ℃ (-31 °F～122 °F)
起動温度: (極寒温度管理機能 (Arctic Temperature Control) 搭載)	-30℃

AXIS P5654-E Mk IIとの組み合わせ

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 5 (90 W)
電力消費量	通常 (ヒーターオフ) 22.3 W、最大80 W
動作温度	-35 ℃～50 ℃ (-31 °F～122 °F)
起動温度: (極寒温度管理機能 (Arctic Temperature Control) 搭載)	-30℃

電力最適化パフォーマンス

電源	PoE、IEEE 802.3bt Dual signature Class 4 (60 W)
電力消費量	通常 (ヒーターオフ) 22.3 W、最大41.5 W
動作温度	-35 ℃～50 ℃ (-31 °F～122 °F)
起動温度: (極寒温度管理機能 (Arctic Temperature Control) 搭載)	-30℃

検知、監視、認識、識別 (DORI)

3.7 mmレンズ

	DORIの定義	距離
検知	25 px/m (8 px/ft)	46.1 m (151.2 ft)
観察	63ピクセル/m (19 ピクセル/ft)	19.4 m (63.6 ft)
認識	125 px/m (38 px/ft)	10 m (32.8 ft)
識別	250 px/m (76 px/ft)	5.1 m (16.7 ft)

8 mmレンズ

	DORIの定義	距離
検知	25 px/m (8 px/ft)	99.0 m (324.8 ft)
観察	63ピクセル/m (19 ピクセル/ft)	40.8 m (133.9 ft)
認識	125 px/m (38 px/ft)	20.8 m (68.2 ft)
識別	250 px/m (76 px/ft)	10.5 m (34.4 ft)

14 mmレンズ

	DORIの定義	距離
検知	25 px/m (8 px/ft)	180.9 m (593.5 ft)
観察	63ピクセル/m (19 ピクセル/ft)	75.3 m (247.0 ft)
認識	125 px/m (38 px/ft)	38.5 m (126.3 ft)
識別	250 px/m (76 px/ft)	19.4 m (63.6 ft)

21 mmレンズ

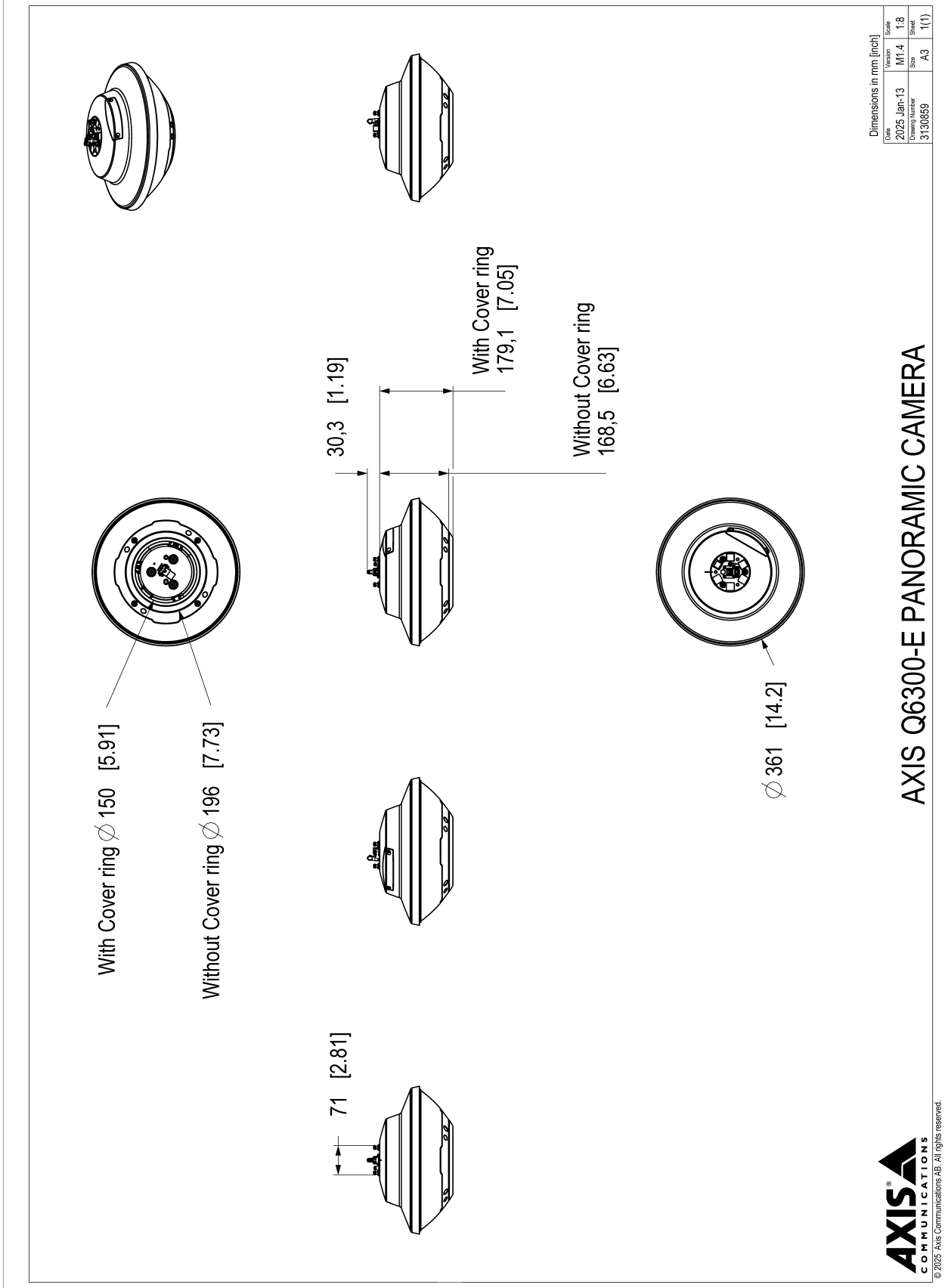
	DORIの定義	距離
検知	25 px/m (8 px/ft)	317.5 m (1041.7 ft)
観察	63ピクセル/m (19 ピクセル/ft)	120.9 m (396.7 ft)
認識	125 px/m (38 px/ft)	60.1 m (197.2 ft)
識別	250 px/m (76 px/ft)	29.9 m (98.1 ft)

31 mmレンズ

	DORIの定義	距離
検知	25 px/m (8 px/ft)	428.7 m (1406.5 ft)
観察	63ピクセル/m (19 ピクセル/ft)	169.3 m (555.4 ft)
認識	125 px/m (38 px/ft)	85.2 m (279.5 ft)
識別	250 px/m (76 px/ft)	42.6 m (139.8 ft)

DORI値は、EN-62676-4規格で推奨されているように、用途別のピクセル密度を使用して計算されます。この計算では、画像の中心を基準点として使用し、レンズの歪みを考慮します。人物や物体を認識または識別できる可能性は、物体の動き、ビデオ圧縮、照明条件、カメラのフォーカスなどの要因によって変わります。計画時にマージンを使用します。ピクセル密度は画像の各部分で変わり、計算値は現実世界の距離とは異なる場合があります。

寸法図面



© 2025 Axis Communications AB. All rights reserved.

注目の機能

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。たとえば、**セキュアブート**は、装置が**署名付きOS**でのみ起動できるようにするため、サプライチェーンにおける物理的な改ざんを防止することができます。署名付きOSの場合は、デバイスで新しいデバイスソフトウェアが検証されてからインストールが受け付けられるようになります。また、**セキュアキーストア**は、安全な通信で使用される暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアや安全な通信は、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。

さらに、署名付きビデオにより、ビデオ証拠が改ざんされていないことを確認できます。各カメラは、セキュアキーストアに安全に保存された固有のビデオ署名付きキーを使用して、ビデオストリームに署名を追加し、ビデオの発信元をAxisカメラまで遡れるようにします。

Axis Edge Vaultの詳細については、*axis.com/solutions/edge-vault*にアクセスしてください。

AXIS Object Analytics

AXIS Object Analyticsはプリインストールされたマルチフィードビデオ分析機能です。人、車両、車両タイプの検知と分類を実行します。AIベースのアルゴリズムと行動条件のおかげで、シーンとその中の空間的な動きを分析できます。お客様固有のニーズに合わせて設定をカスタマイズ可能です。拡張性が高くエッジベースであるため、最小限の設定により、同時に実行されるさまざまなシナリオに対応できます。

指向性音声検知

多くのAxisネットワークカメラは音声検知分析機能に対応しており、銃声、車の衝突音、悲鳴などの音を検知すると即座に警報を発してオペレーターに通知し、ビデオを補完する貴重なツールとなります。指向性音声検知は、AXIS Q6300-Eが音声インシデントを検知し、統合されたPTZカメラを音源の方向に自動的に向けることができる、より高度な機能です。この機能は、設定されたトリガーレベルを超える急激な音の振幅の増加に反応します。

オートパイロット

Autopilotは、対象範囲を監視するアプリケーションです。デバイス上のイベントは、アラームをトリガーしたり、エリアで人、車両、その他の物体がエリア内を移動している場合にビデオの録画を開始したりするために設定できます。

マルチチャンネルデバイスでアプリケーションを使用するには、少なくとも1つのデバイスでアプリケーションを設定して実行します。

© 2025 – 2026 Axis Communications AB. AXIS COMMUNICATIONS、AXIS、ARTPEC、VAPIXは、スウェーデンおよびその他の国で登録されたAxis ABの登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。記載内容は予告なく変更されることがあります。